

漁況情報（マダコ）

令和4年1月14日

福島県水産海洋研究センター 海洋漁業部

福島県水産資源研究所 資源増殖部

- 本県においてマダコは11月～翌1月にかけて多く漁獲されます。
- 本県における令和3年12月末現在のマダコの漁獲量・金額については以下のとおりです（速報値）。

表 本県におけるマダコの水揚げ状況

| | 令和3年* | 令和2年 | 平成22年 | 対前年比 | 対震災前年比 |
|------------|-------|------|-------|------|--------|
| 水揚数量（トン） | 123 | 162 | 144 | 76% | 85% |
| 水揚金額（百万円） | 116 | 95 | 98 | 122% | 119% |
| 平均単価（円/kg） | 939 | 583 | 676 | 161% | 139% |

*12月末時点の速報値

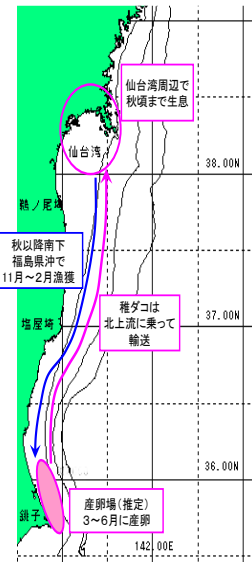
- 令和3年12月末現在の漁獲量は123トンで前年と比較すると76%、漁獲金額は116百万円で前年の122%でした。なお、平均単価は939円/kgで前年の161%でした。
- 本県において、マダコは主にカゴ漁業、底びき網漁業により漁獲されます。
- マダコは漁獲量の年変動が大きい種です。茨城県～千葉県沿岸で発生した幼稚仔期のタコは、北へ流れる潮によって仙台湾へ供給されます。この際の海況条件によって供給量が決まり、漁獲量の多少に影響すると考えられています。

マダコの生態

○分布・移動：青森県以南の日本沿岸に分布します。本県沿岸では、毎年6～8月に稚タコが出現しますが、年により6～8月に親タコ（1,000g～2,500g）の出現がみられます。稚タコ（100g以下）は茨城県沿岸で3～6月に発生し、幼稚仔期、稚タコ期に北上流に輸送され仙台湾周辺で秋まで生育し、本県に南下タコとして来遊します。

○成熟・産卵：寿命は1～2年、メスの産卵は一生に1回で、卵から稚タコが孵化した後に斃死します。全長60cm前後で成熟します。

○食性：肉食性で、浮遊期の稚子はアミ類などの浮遊性甲殻類を食べますが、底生生活移行後エビ、カニなどの甲殻類や貝類を好む他、魚類も食べます。



【備考】

集計は各漁業協同組合の水揚げ月報を用いて行いました。

- 福島県水産海洋研究センターホームページでは、漁海況速報をカラー版で掲載しています（URL: <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/gyokaikyo.html>）
- 福島県水産資源研究所ホームページでは、福島県資源評価票を掲載しています（URL: <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37395c/shigenhyoka.html>）